



祝 辞

那覇市長

翁 長 雄 志

（代読）大城清紀 建設管理部長

社団法人「沖縄県設備設計事務所協会」並びに「建築設備技術者協会九州支部沖縄支所」の設備合同懇親会にあたり、祝辞を申し上げます。

平成18年度合同の通常総会が開催され、盛会のうちに滞りなく終了されましたことを心からお祝い申し上げますとともに、日頃から那覇市政へのご理解とご協力をいただいておりますことに対し深く感謝申し上げます。

私自身のことについてであります。入院、治療のため一時的に公務を離れることになり、ご参加の会員の皆様、市民の皆様に、いろいろとご心配・ご迷惑をおかけしておりますが、今では、体力も順調に回復の兆しが見えてきております。

市民の皆様には、あらためて心からお詫びを申し上げますと同時に、早く回復して市民の皆様、職員と共に那覇市のまちづくりに適してまいりたいと考えております。今のところ五月二十日の那覇市制施行八十五周年記念式典での公務復帰を予定しております。

さて、国内の経済は、依然として厳しい経営環境下にあります。建設関連業界を取り巻く社会環境が大きく変化する中で、規制緩和により価格競争が激化するなど、大変厳しいものがあるとお聞きしております。

このような厳しい経済情勢の中、会員の皆様が一同に会し、通常総会が開催されましたことは誠に意義深いことだと考えております。

自治体にとりましても、「三位一体改革」という環境下で依然厳しい行政運営を続けなければなりません。こういう厳しい時代だからこそ、市民の皆様と行政が力を合わせ、その英知を結集していく価値があるものと思います。

又、この度、那覇市では市民にもまちづくりを担ってもらうということで、市民との協働のまちづくりの基本方針となる「市民と行政との協働」の考え方をとりまとめ、今後は協働を推進する仕組みづくりを提案し市民が主体となるまちづくり活動を進展していきます。

皆様には、市民生活の向上、発展のため、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本市では、今年度は、石嶺市営住宅の実施設計・宇栄原市営住宅建替事業の基本設計、識名市営住宅建替事業、城南小学校舎改築工事の実施設計等の事業を予定しております。本市では、設備設計の分離又は共同企業体発注を行って、今後とも継続して取り組んでいきたいと考えております。

結びに、社団法人「沖縄県設備設計事務所協会」並びに「建築設備技術者協会九州支部沖縄支所」のますますのご発展と、ご参加の会員の皆様のご繁栄を祈念いたしまして、お祝いのごあいさつといたします。

